

質問10

夏休みの課題で、世界遺産に登録された知床のことを調べようと思いました。

インターネットなどで調べましたが、自然や観光のことがほとんどでした。

僕は前に北海道に住んでいて、知床にも観光で行ったことがあるので、世界遺産になったことが人々の生活にどんな影響の及ぼすのかに興味がわいてきました。

そこで、知床が世界遺産になった事でのプラス面と、漁業被害などを含めたマイナス面を教えて欲しいと思います。(中1男子)

答え

知床の世界遺産登録について、インターネットではどのようなことがわかりましたか？

自然に関しては、ヒグマやエゾシカ、シマフクロウといった野生生物のこと、海に栄養をもたらす流氷や、陸上生物のエサとなるサケの役割、などが紹介されていたと思います。

観光に関しては、世界遺産登録によって観光客の増加が予想されること、それにより地域経済が活性化すること、反面、自然破壊に気をつけなければいけないこと、などがわかったのではないのでしょうか？

世界遺産に登録されたことの最大の利点は、知床が持つ生態系や生物多様性の価値が世界的に認められ、この自然を後世に残していくための下地ができたことですが、同時にこれまで地元で行われてきた、人と自然の共存の取組も併せて評価されています。

漁業関係では、希少種であるトドのエサとなるスケトウダラの資源管理について、スケトウダラの漁業者が、漁期を限定したり、産卵前の幼魚を漁獲しないよう漁網の網目を定めたりするなど、従前から資源管理の取組を行ってきたことが評価されました。

また、マイナス面というわけではありませんが、知床の自然環境保全には、多くの方が足を踏み入れることによってもたらされる自然環境に与える負荷をいかに小さくすることができるかが大きな課題です。

そのため、資源環境の保全と観光、産業活動が調和できるよう、北海道も参画して知床利用の基本となる「知床ルール」の策定を進めているところです。

これ以外についても、知床の世界遺産登録に関しては、各新聞社が「産業である漁業活動にどのように影響があるのか？」「エゾシカなどの野生生物が増加することによりどのような影響があるのか？」など、いろいろな観点で特集記事を組んでいるので調べてみましょう。